新春の歡喜の涙繼ぐタスキ

坪郷 英美子

我が財布診察券の展示場

今川 昇

トラクターサギの家族を引きつれて

藤井 節子

倅せますと言われて心温まる

竹本 タエ子

見栄張るも伏せて置きたい事がある

田中 たづ子

しんしゅんのかんきのなみだつぐたすき

つぼごう えみこ

わがさいふしんさつけんのでんじじょう

いまがわ のぼる

とらくたーさぎのかぞくをひきつれて

ふじい せつこ

しあわせますといわれてこころあたたまる

たけもと たえこ

みえはるもふせておきたいことがある

たなか たづこ

風花や千年を経し国衙跡

馬場 精作

街灯の丸き光りに雪の花

藤岡 久美子

あかんぼの指開くように花満作

林 美津江

母の里無人となりて水仙花

山本 隆子

うっすらと土の匂ひの雪達磨

河野 怜子

かぎはなやせんねんをへしこくがあと

ばば せいさく

がいつのまるきひかりにゆきのはな

ふじおか くみこ

あかんぼのゆびあくようにはなまんさく

はやし みつえ

ははのさとおじんとなりてすいせんか

やまもと たかこ

うっすらとつちのにおいのゆきだるま

かわの れいこ

老木の梅のつぼみのほころびを
写メールすれば『立春』と返る

原田 たえ子

受け継いだ母のレシピに手を加え
私と我家の味を始める

賤間 星

山茶花の万のふくらみ風を待つ
郵便バイクは紅を散らして

末永 敦子

集い合う婆のカラオケ青春歌
昭和を生きた声冴えわたる

原田 ヤスエ

キャンディーの甘い香りす蠟梅の
黄色い花びら希望が透ける

山口 正子

ろうぼくのうめのつぼみのほころびを
しゃめーるすれば『りっしゅん』とかえる

はらだ たえこ

うけついだははのれしびにてをくわえ
わたしとわがやのあじをはじめる

ざいま せい

さぎんかのまんのふくらみかぜをまつ
ゆうびんばいくはべにをちらして

すえなが あつこ

つどいあうばのからおけせいしゅんか
しょうわをいきたこえさえわたる

はらだ やすえ

きゃんでいーのあまいかおりするうばいの
きいろいはなびらきぼうがすける

やまぐち まさこ

手習いの渦にまじる九十才

松下 満江

にぎった手を握り返されて離さない

岡村 裕司

夫の腕まくり 朝のしまい

西岡 悦子

昭和がうすれていく賀状じまい

岡部 雅江

どうぞとすべり台ゆづる子

林 陽子

てならいのうずにまじるきゆうじゅっさい

まつした みつえ

にぎったてをにぎりかえされてはなさない

おかむら ひろし

おっとのうでまくり あさのしまい

にしおか えつこ

しょうわがうすれていくがじょうじまい

おかべ まさえ

どうぞとすべりだいゆづるこ

はやし ようこ